

沖縄観光推進ロードマップ

(第6次沖縄県観光振興基本計画に係る実施計画)

< 概要 >

1 沖縄観光推進ロードマップの位置付け

上位計画 【2022年(令和4年)5月策定】

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（計画期間10年）

【36の基本施策、107の施策展開、339の施策】

将来像の実現と固有課題の克服
に向けた施策展開の基本方向

基本計画 【2022年(令和4年)7月策定】

第6次沖縄県観光振興基本計画（計画期間:10年）

【6の基本施策、30の施策展開、85の施策】

目指す将来像に向けた基本施策
や成果指標

実施計画 【2023年(令和5年)3月策定】

沖縄観光推進ロードマップ

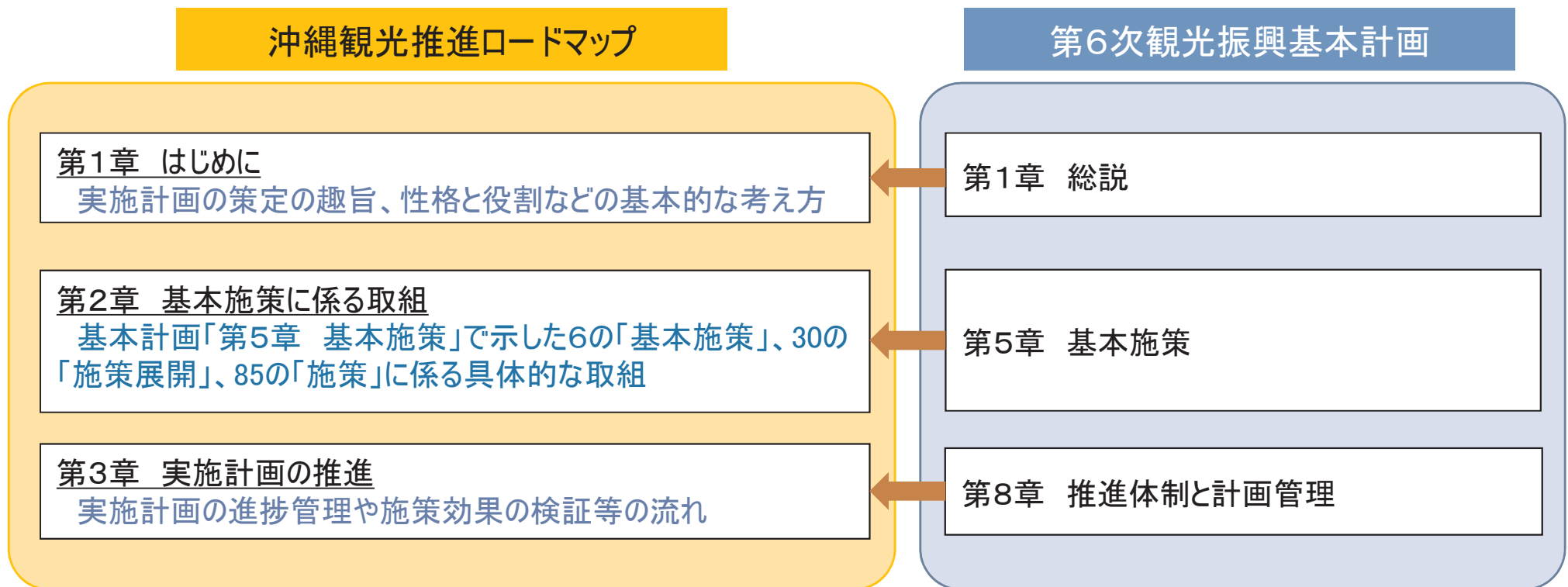
（計画期間:前期3年・中期3年・後期4年）

【85の施策に紐付く目標値や取組】

基本計画に掲げた施策毎の
目標値や具体的な取組等を
設定

2 沖縄観光推進ロードマップの構成①

- 第6次観光振興基本計画の各章に対応する取組等を記載
- 85の施策ごとに成果指標の目標値を設定
- 各施策を推進する具体的な取組を設定
- 成果指標を用いた施策効果の検証や各施策に係る取組の進捗状況の確認(文化観光スポーツ部独自のPDCAサイクル)



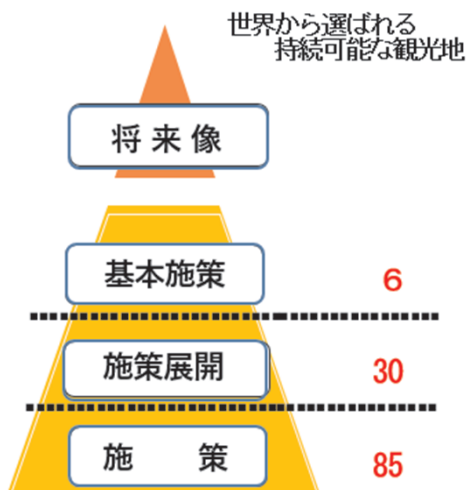
2 沖縄観光推進ロードマップの構成②

【主なポイント】

- ロードマップの期間を前期3年(R4～R6)に設定。計画期間を短縮することにより、事業の進捗や社会経済情勢の変化等に対応
- 新たなロードマップでは、各施策の成果指標に目標値や具体的な取組を併せて設定
- 施策の成果指標には、可能な限り、定量的な目標値を設定し、具体的な取組との関係を明確化することにより、適切な施策の効果検証につなげていく

基本計画	第6次沖縄県観光振興基本計画 (令和4～13年度)		
ロードマップ (実施計画)	前期 (令和4～6年度)	中期 (令和7～9年度)	後期 (令和10～13年度)

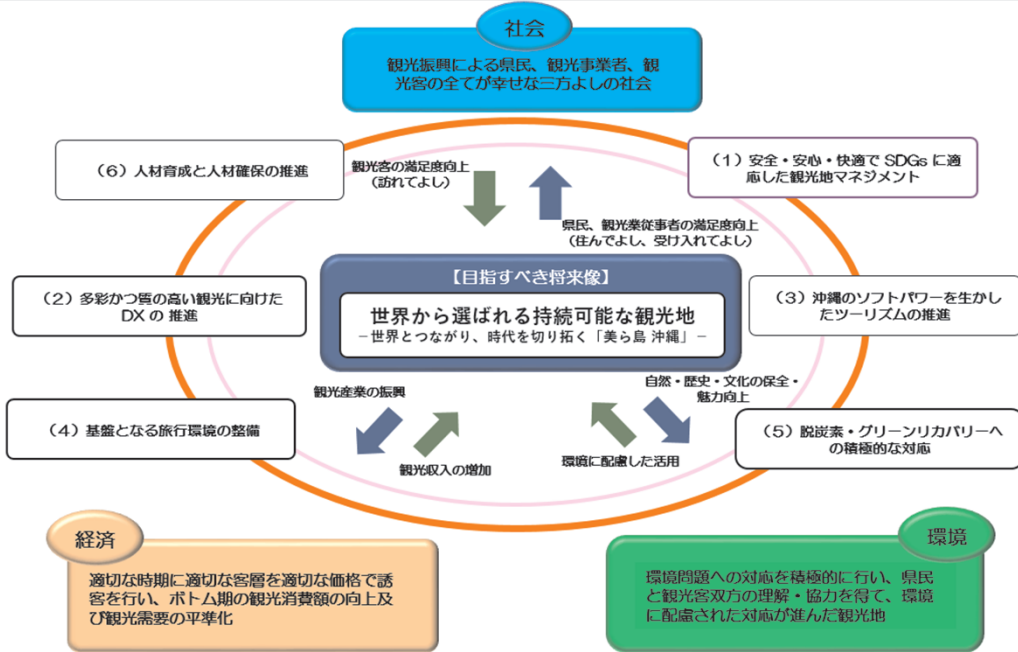
個別施策85の成果指標(KPI)に具体的な取組や目標値等を設定し、計画の実行にあたっての進捗管理を行う。



	施策	成果指標	取組内容	目標値
1	「安全・安心の島沖縄」の構築に向けた受入体制等の整備	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合	※「沖縄観光推進戦略会議」やその専門部会とし設置する関係3部会、関係団体等への意見照会により内容を検討。	
2	外国人旅行者を含めた各地域での危機管理体制の強化	市町村の観光危機管理計画・マニュアル等の策定数		
・	・・・	・・・		
・	・・・	・・・		
85	女性の働きやすい職場環境の推進	女性が働きやすい環境づくり		

3 沖縄観光推進ロードマップの記載内容①

○ 目指すべき将来像(「世界から選ばれる持続可能な観光地」と3つの視点の目標値(社会・経済・環境)や基本施策等との関係性を図にして整理。



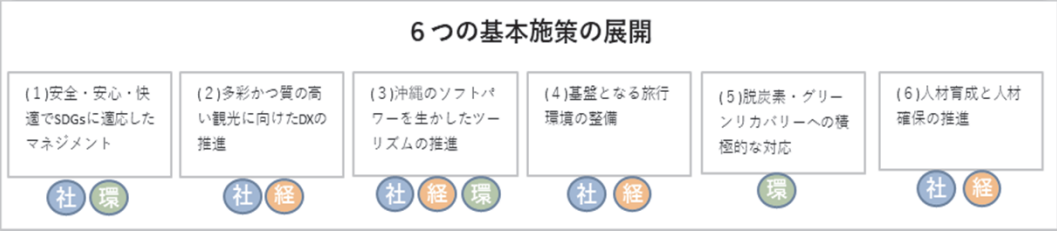
県民、観光客、観光業従事者が、自然、歴史、文化を尊重し、それぞれの満足度を高めるとともに、環境容量の範囲において観光産業の成長と維持を目指すことで、沖縄経済を最適に活性化させる。

目指すべき将来像/VISION
「世界から選ばれる持続可能な観光地」
世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」

計画の目標値/OUTCOMES

社会の視点	経済の視点	環境の視点
<ul style="list-style-type: none"> 県民の幸せ感90% 観光事業者の満足度80% 観光客の満足度80% 	<ul style="list-style-type: none"> 観光収入1.2兆円 人泊数4,200万人泊 観光事業者20代平均年収280万円 役職者平均年収448万円 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー対応観光関連施設数100件 アメニティグッズ廃止宿泊施設数100件 「3010運動(フードロス削減)」を奨励しているホテル数100件

将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」/MISSION
県民、観光客、観光業従事者が、自然、歴史、文化を尊重し、それぞれの満足度を高めるとともに、環境容量の範囲において観光産業の成長と維持を目指すことで、沖縄経済を最適に活性化させる。



3 沖縄観光推進ロードマップの記載内容②

社会

【施策展開】 (1)-ア	危機管理体制の見直し・強化
-----------------	---------------

施策展開の体系

【施策展開】	
(1)-ア	危機管理体制の見直し・強化
【施策】	【成果指標】
①「安全・安心の島沖縄」の構築に向けた受入体制等の整備	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
②外国人旅行者を含めた各地域での危機管理体制の強化	市町村の観光危機管理計画・マニュアル等の策定数

社会

分類の表示

○社会・経済・環境の3つの目標値のうち、どの目標値に資する施策なのか把握できるように分類を表示。

施策展開の体系

○施策展開に紐付く、施策と成果指標を記載

施策の方向

○第6次観光振興基本計画で示されている各施策の方向を記載。

成果指標

○県等が実施する施策の成果（各施策の取組に対する成果等）を表す。

○目標値は、基準値等を踏まえて、R6・9・13年度を算出して記入。

○施策効果を検証する際の基準や物差しとしての役割をもつ。

【施策】(1)-ア-① 「安全・安心の島沖縄」の構築に向けた受入体制等の整備

施策の方向

○ 新型コロナウイルス感染症に対しては、ウイズコロナ時代を前提に世界の観光需要に対応した受入環境を整備し、安全・安心で快適な観光地としての競争力と評価を高めること、「新しい生活様式/ニューノーマル」において国内外から選ばれる観光地への転換を図る。

成果指標

成果指標名：観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる割合」	
基準値	R6年度の目標
91.8%(R3年度)	91.8%

R9年度の目標値:91.8%
R13年度の目標値:91.8%

3 沖縄観光推進ロードマップの記載内容③

主な取組

【施策】ア-① 「安全・安心の島沖縄」の構築に向けた受入体制等の整備						
主な取組(担当課)	実施主体	取組内容				
		活動指標(アウトプット)				
		R4	R5	R6		
○ウィズコロナ時代を前提に世界の観光需要に対応した受入環境を整備						
「安全・安心の島沖縄」に関する調査 (観光政策課)	県	沖縄を訪問した観光客を対象にアンケート調査を行い、「沖縄は安全・安心であると感じる」割合を把握し、変動要因等の分析に取り組む。				
		観光統計実態調査の実施及び変動要因等の分析	1回	1回	1回	
観光危機管理体制構築支援事業 (観光振興課)	県 観光関連団体 国 市町村	観光リゾート地としての安全・安心を確保するという課題に対応するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。観光危機管理体制運用図上訓練等の開催				
		訓練参加団体・事業者数	21	22	25	

主な取組

○「施策の方向」で示した沖縄県の現状や対応すべき問題、施策の必要性に対する主な取組を設定。

活動指標(アウトプット)の記載

- 主な取組の年度ごとの活動量(事業量や取組状況)を表す。
- 主な取組の進捗状況を確認する指標として設定

4 基本施策に係る主な施策・取組と成果指標①

【基本施策】(1)安全・安心・快適でSDGsに適応した観光地マネジメント

<主な施策>

ウー ② サステナブル・ツーリズムの推進

(施策の方向)

過剰な開発や不適切な開発等によって地域社会や経済に悪影響が及ばないよう、各地域において、地域や離島エリア別のキャパシティを考えたうえで、需要と供給の両面から受容できる一定の量の定義設定を行い、観光客の分散や制限を図りながら、県民、観光客、事業者に応じたサステナブルツーリズムを推進する。

<成果指標>

	基準値 (R3年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた割合	40.7%	50.0%	60.0%	70.0%

<主な取組>

- 持続可能な観光地の形成(サステナブルツーリズム推進事業)
- 自然環境に配慮した海岸の整備
- 自然環境の保全利用協定の締結推進

<主な施策>

エー ③ レスポンシブルツーリズムの推進

(施策の方向)

観光と地域の共存・共生に向けた新たなコンセプトとして、レスポンシブルツーリズムが国際的な広がりを見せており、本県においては、世界文化遺産である琉球王国のグスク及び関連遺産群に加え、令和3年7月に沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されたことから、これまで以上に、自然環境や生活文化などへの影響を軽減する必要があるため、観光客に対して“責任ある旅行者”としての行動を求める取組を推進する。

<成果指標>

	基準値 (R3年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
観光客が訪れることにより、「文化資源や自然資源が保存・継承される」と思う県民の割合	13.9%	23.9%	33.9%	43.9%

<主な取組>

- 持続可能な観光の推進にかかるセミナーの実施(サステナブルツーリズム推進事業)
- 住民生活や自然環境への配慮等に関する周知啓発

4 基本施策に係る主な施策・取組と成果指標②

【基本施策】 (2) 多彩かつ質の高い観光に向けた DX の推進

<主な施策>

ア- ② 国内外観光客の特性に合わせたマーケティング

(施策の方向)

観光客の動態の変化や生の声をリアルタイムに近い形で施策及び現場に活かすため、即効性・実効性の高い観光統計の集計・分析を行い、トランジット客や県内観光客も含めたデータに基づいた季節による需要の偏在や地域による需要の格差を解決するための方策を検討する。

<成果指標>

	基準値 (R3年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数	5,000件	31,500件	31,500件	31,500件

<主な取組>

- DX観光客動態調査事業
- 観光客の購買データ利活用
- 観光客の路線バス乗降データの利活用

<主な施策>

イ- ② ICT・通信インフラを拡充した観光施設等の受入体制構築

(施策の方向)

国内外の観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向け、ICT やデジタル技術を活用し、VR(仮想現実)・AR(拡張現実)等により本県の文化や自然を深く体験・体感できる観光コンテンツの創出を行うほか、観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及、観光情報のオープンデータ化等、産業とテクノロジーやイノベーション分野との積極的な産業連携による事業創出を促進し、混雑回避に必要な混雑情報や比較的空いている観光地の情報発信を推進する。

<成果指標>

	基準値 (R3年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
観光施設におけるコンタクトレス決済普及率	35.7%	59.3%	75.0%	81.3%

<主な取組>

- コンタクトレス決済端末機の普及促進
- 産業DXの推進に向けた機運醸成
- 観光情報のデジタル化推進

4 基本施策に係る主な施策・取組と成果指標③

【基本施策】 (3) 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進

<主な施策>

ア- ① 世界自然遺産等の自然の活用と保全

(施策の方向)

世界自然遺産や国立公園を生かしたエコツーリズムの方向性は自然を生かした発展であり、エコツーリズム、アドベンチャーツーリズムなど地域の資源と触れあう体験型観光やエデュケーショナルツーリズムなど、北部三村や竹富町、関係団体と連携して、多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムを推進する。

<成果指標>

成果指標	基準値 (年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
世界自然遺産地域内における専門知識を有した認定ガイド数	211人	253人	316人	400人

<主な取組>

- 世界自然遺産保全・適正利用推進事業
- 自然環境の保全利用協定の締結推進
- アドベンチャーツーリズムの推進

<主な施策>

イ- ④ 文化観光の推進

(施策の方向)

文化・伝統・芸能等のソフトパワーを生かし、良質な観光体験や沖縄の魅力を生かしたサービスなど、付加価値の高いツーリズムを推進していく。

<成果指標>

成果指標	基準値 (R3年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
旅行商品造成プログラムモデルの構築数	0件	6件	10件	10件

<主な取組>

- フィルムツーリズム推進事業
- 文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発
- 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業
- しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出支援事業

4 基本施策に係る主な施策・取組と成果指標④

【基本施策】 (4) 基盤となる旅行環境の整備

<主な施策>

A- ② 国際路線の拡充に向けた取組強化

(施策の方向)

離島航空路の確保と維持に向け、計画的な空港施設の更新整備と機能向上に取り組む。また、新石垣空港、下地島空港において、各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備に係る取組や、首都圏または政令指定都市等とつながる地方管理空港の路線開設に向けた取組を支援する。

<成果指標>

	基準値 (R2年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
那覇空港、下地島空港、新石垣空港の国際路線数(就航都市数)	0路線 (R2年度末)	18路線	22路線	25路線

<主な施策>

- 沖縄観光グローバル事業
- 国際旅客ハブの形成
- CIQの常設化及び運営体制の強化

<主な施策>

I- ③ 圏域の拠点港湾等の機能強化

(施策の方向)

各圏域の拠点港湾等においては、大型クルーズ船が寄港可能な岸壁や旅客ターミナル施設等を整備し、クルーズ船の寄港・就航を促進するための港湾機能の強化に取り組むとともに、観光の高付加価値化を図るため、スーパーヨット等の受入環境整備を推進する。

<成果指標>

	基準値 (R2年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
本部港・平良港・石垣港のクルーズ船寄港数	13回	290回	357回	500回

<主な取組>

- 戦略的クルーズ観光推進事業
- 離島港湾整備事業
- 離島航路運航安定化支援事業
- 新たな航路の開設に向けた検討

4 基本施策に係る主な施策・取組と成果指標⑤

【基本施策】 (5)脱炭素・グリーンリカバリーへの積極的な対応

<主な施策>

① 食品ロス削減の推進

(施策の方向)

食品リサイクルの推進(ホテル・飲食店等における食品ロス)、使い捨て容器包装等の削減、観光サービス提供時における県産リサイクル製品、代替プラスチック製品の積極的な利用や自然素材への転換などを通じて、廃棄物の削減及び脱プラスチック社会の実現に向けての取組を促進していく。

<成果指標>

	基準値 (R元年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
「3010運動」フードロス削減を推奨しているホテル数	4施設	30施設	60施設	100施設

<主な取組>

- 観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組
- 食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度の推進
- 食品ロス削減月間(10月)等の取組

<主な施策>

④ カーボンニュートラルの推進

(施策の方向)

国内外の市場に向けて沖縄観光の姿勢を示すため、食品リサイクルの推進(ホテル・飲食店等における食品ロス)、使い捨て容器包装等の削減、観光サービス提供時における県産リサイクル製品、代替プラスチック製品の積極的な利用や自然素材への転換などを通じて、廃棄物の削減及び脱プラスチック社会の実現に向けての取組を促進していく。また、運輸部門、宿泊施設、観光施設の脱炭素化に向けての取組も推進していく。

<成果指標>

	基準値 (R元年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
観光関連施設等における再生可能エネルギー対応施設数	9施設	30施設	60施設	100施設

<主な取組>

- 多様なモビリティの充実に向けた環境整備(交通体系整備推進事業)
- パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進
- 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化(陸上電力供給施設の整備等)

4 基本施策に係る主な施策・取組と成果指標⑥

【基本施策】 (6) 人材育成と人材確保の推進

<主な施策>

ア- ① 多彩で質の高いサービスを提供できる観光人材の育成・確保

(施策の方向)

観光従事者の対応力の向上及び地域の歴史文化・資源の理解や高度経営人材の育成のための研修の充実、広報・周知のほか、大学等と連携した人材育成カリキュラムの構築、外国人労働者の採用・雇用改善による観光地経営と現場を担う人材の育成・確保を図る。

<成果指標>

	基準値 (R元年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
観光事業者(正規雇用者) 20代平均年収	2,536,092円	2,646,052円	2,712,028円	2,800,000円

<主な取組>

- スキルアップ研修の実施
- 企業の人材育成研修への支援強化
- 各種雇用支援制度の周知及び有効活用の促進
- UJIターンの推進

<主な施策>

イ- ① キャリアデザインを導入した観光人材育成

(施策の方向)

沖縄の観光産業従事者の社会的な地位や QOL (Quality of Life: 仕事のやりがい等) 向上に向けて、観光産業で働くことを通じて、自身のライフプランや働き方も含め、将来なりたい姿や目標を描くキャリアデザインの普及啓発に取り組むほか、国内外の先進的な取組を行う地域や教育機関への派遣・研修も含めた魅力的な研修制度の明示や、従業員自らのキャリア形成を応援する環境づくり、法律に準じた観光産業の雇用環境(障がい者雇用を含む)の改善と安定的に質の高い雇用の確保が可能となる体制の構築を促進する。

<成果指標>

	基準値 (R元年度)	R6年度 目標値	R9年度 目標値	R13年度 目標値
観光事業者における役職者 (部長級・課長級・係長級) での平均年収	4,279,381円	4,362,972円	4,413,126円	4,480,000円

<主な取組>

- キャリアデザイン研修の実施
- 稼ぐ力の向上に向けた人材育成の実施
- 「観光事業者における役職者(部長級・課長級・係長級)での平均年収」に関する調査

4 沖縄観光推進ロードマップの推進

